

# 支 所 経 営 方 針

平成 1 9 年度

薩摩川内市

|     |      |      |      |
|-----|------|------|------|
| 支所名 | 樋脇支所 | 支所長名 | 鶴園信雄 |
|-----|------|------|------|

|              |               |        |     |     |
|--------------|---------------|--------|-----|-----|
| 支所内の<br>経営資源 | 支所関連の<br>主な予算 | 3.27億円 |     |     |
|              | 構成人員          | 職員     | 嘱託  | 計   |
|              |               | 37人    | 16人 | 53人 |

|                    |   |       |  |
|--------------------|---|-------|--|
| 支所の使命<br>(組織の存在価値) | <p>薩摩川内市総合的支所としての機能を発揮し，市民に満足度の高いサービスを行うことである。</p> <p>市民が安心・安全に豊かに暮らせる社会環境を創出する。地区コミュニティ協議会の充実，自主運営を目指す。</p> <p>「みんなで創り，育む交流躍動のまち樋脇」実現のため住民参加型の行政運営を目指す。</p> <p>産業の振興を図るため，各種事業の情報提供や支援を行い，市民所得の向上を目指す。</p> | 組織目標像 | <p>住民ニーズに的確・迅速・丁寧な対応に徹する。</p> <p>グループ制メリット発揮で事務効率化と定時退庁。</p> <p>本庁，支所間格差や相違が生じないように連絡調整の強化。</p> <p>高齢者世帯の粗大ゴミ搬入の地区コミ協力体制の構築。</p> <p>緊急時のライフラインの確保体制を強化する。</p> <p>幼稚園の統廃合による適正規模配置を目指す。</p> <p>高校再編問題を転機とし，振興策を検討する。</p> <p>米改革制度と合わせ重点作物の選定を進める。</p> <p>営農組織・農業法人を育成する。</p> <p>各種イベントを全庁あげて支援し地域活性化に繋げる。</p> |
|--------------------|---|-------|--|

## 平成 1 9 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

| 重点事項          | 具体的な成果目標(めざそう値)                  | 具体的な取組内容  | 進捗状況(年度中間)   |
|---------------|----------------------------------|---|--|
| 目標と方針の支所内の共有化 | 使命遂行に向けた職員の意識改革<br>「市長五訓」を周知徹底する | 課内ミーティングの実施<br>内部情報システムの駆使<br>人材育成基本方針の活用<br>事務フローチャートの作成<br>窓口編の活用 | 課内ミーティング(月1回定例)を開催し，目標・方針の確認と意志疎通をはかって実践に繋げている。<br>課共有フォルダを有効活用している。<br>各種団体の自立・自主運営について，理解に進展が見られるようになった。 |
| 迅速・的確・丁寧な窓口業務 | お客様を待たせない，要求を掴む，不愉快にさせない         | すぐ立ち上がる，よく話を聞く，進んで挨拶を交わす  | 市民と接する身近な窓口であることを常に意識し，好感のもてる対応を実践している。<br>新興団地の環境保全等サービスのあり方について差異があり，住民の不満がある。<br>一部ローカウンターへの改善，2G協働で    |

# 支 所 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

|                           |  |  |   |
|---------------------------|--|--|---|
|                           |  |  | 昼窓口業務を行い、サービス向上をはかった。   |
| 自主的改善による市民サービスの向上         | 意識して接遇に徹すること<br>整理整頓に心がける                        | 週一回課内ミーティングを開く   | Gミーティングが疎かである。Gメリットを引き出すためG活動を充実する。<br>文書管理システムが円滑に機能していない面がある。   |
| 職員のマナー、モラル、士気の向上<br>規範の遵守 | 互いに指摘しあえる職場環境<br>地域行事に積極的に参加する<br>職場から法令違反者を出さない | みだしなみを常に意識する<br>マナーアップシートを作成し配布する<br>ボランティア活動の実施<br>「戒石銘」の理解・自覚          | 職員の服装、モラルについては、随時周知し規範の遵守に努めている。<br>職員の意識啓発、環境美化活動の一環として支所職員全員でゴミ回収ボランティア作業を実施した。   |
| 食料・農業・農村基本計画の実践           | 認定農業者の育成<br>18年度末43名 19年度末47名                    | 集落営農組織及び認定農業者を育成する<br>経営の規模拡大、品目横断的経営安定対策を推進する<br>産地づくり対策等を通じて農家所得向上を目指す | 9月12日薩摩川内市認定農業者会による研修・交流会を開催し、7部会を構成し組織主体による活動を推進している。<br>集落営農組織(藤本地区)の法人化に向けて、地元と協議中で平成20年2月までに登記を完了する予定である。<br>品目横断的経営安定対策として大豆作を倉野地区をモデルとし、他地区に推進する。 |
|                           | 重点品目の選定  | 重点7品目に加え、新作物の選定を行ない米改革制度の実効と定着を目指す                                       | サラ玉・サトイモ(エグ)を推進している。<br>鹿児島で栽培は難しいとされる、麦(小麦)の栽培に取り組む。指導者(技連会)の勉強会の実施。   |
|                           | 農地・水・保全対策<br>4地区 86ha                            | 各地域民により、農道・水路等の維持管理を進め農地の荒廃を防止する   | 事業の初年度であるため、活動計画に沿った実施がなされるよう 助言・指導している。  |
|                           | 繁殖牛の受胎率5%向上                                      | 高齢牛及び不妊牛の更新・淘汰   | 上期子牛出荷(対計画比)109%<br>更新指導(4月~6月)育成牛15頭導入<br>受胎率については、(対前年比)108%で13頭増の171頭であった。<br>随時機会を捉え巡回指導を実施している。  |

# 支 所 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

|                          |                             |  |  |
|--------------------------|-----------------------------|--|--|
| <p>商工観光の振興</p>           | <p>青少年サッカー大会<br/>よさこい祭り</p> | <p>大会実効委員会，観光協会，市比野イベント部会が主催するイベント支援を行う</p>  | <p>8月に実施された市比野温泉杯サッカー大会への支所職員全体支援を行った。<br/>11月末に実施されるよさこい祭りへの実施に向けて支所職員全体支援を進める。</p> |
| <p>学校給食費，奨学資金の滞納徴収強化</p> | <p>既存滞納者の縮減及び新規滞納者の防止</p>   | <p>戸別訪問の強化，PTA・学校との連携を強化し，地域担当保護者徴収の実施検討</p> | <p>戸別訪問による徴収・徴収日の確約を取り付け，また，学校と連携を密にし徴収の強化をはかっている。</p>                               |

## 年度末の達成状況【主な実績】

|  |
|--|
|  |
|--|

G...・グループの略称